

ふたりのおかあさん

佐賀県 佐賀大学教育学部附属小学校 二年 淵上^{ぶちがみ} 千紘^{ちひろ}

わたしの家にはふたりのおかあさんがいる

わたしやお兄ちゃんを生んでくれた

目の前にいるおかあさん

そして

そのおかあさんが、かなしいさびしいなみだをな

がすときにあらわれるおかあさん

おかあさんのおかあさんは

お兄ちゃんやわたしに会わずに

「おばあちゃん」になる前にてんごくへ

いった

だけど

おかあさんからいっぱいいっぱい話を聞いて

そだったわたしは

あったことがないおばあちゃんが

まるで、今も生きているみたい

まるで、そばにいるみたい

おばあちゃんの話をするとき

おかあさんは、いつもポロポロとなみだを

ながす

おかあさんがわたしと同じくらいのこども

みたいに

いっぱいいっぱいなみだをながす

そのとき

わたしがおかあさんになる

おかあさんのおかあさんがあらわれるのだ

「だいじょうぶだよ。わたしがいるよ」

おかあさんのせなかをトントンしながら

わたしは、おかあさんのおかあさんになる